「東京活治」は「成本を強減は、干三日平町十時四十分宮中 東部間におして開資、平沿、荒井正岡神長以下各部高度、大村上が記記は、一部所の東田首は、一等内屋担以下各部高、大田法師局登官、「他師原は参列」 天皇医下起域の下に

廿三日の樞府本會議

東京出語」凝読制度調で館では一

【東京出版】或女部では二十二日

政友首腦部會議

各國策案に調査局が

嚴密な検討を加ふ

獣語の結果地段英語なく成案通り可決

よつて政府は戦災のお下げ改しを待つて闘議に附議の結果が陸興議なく殿客通り可決。唯下人間あらせら

2上部村上部記憶長より影館報告あり、終つて経顧に入り

八月十六日釜山御上陸、野十は鮮瀬地方御足県のため来る。陸天御征撃中の竹川宮殿下に

釜山御上陸

古路典器を研究を、十八日新城御連過、平監で即一部の上

一政府に張自忠市長を訪問战里なる 

就議を提出した、避自忠氏は発に「十三日午後」時半より百組宣源 「本事件閣領書の顕正なる場間、中語言、森山、福貝兩法部品参事」、故事は著名を職への解離 「女母教名を職への解離 「大多事芸」を記述の解析 「お来この確確件競出に持ちる」「十七日間なれる第一世語論に現 十分なる年度

香に重大院響を堅へる事を避け、言業

要別能に認識の証事服所に關し配出すべき或所よりの路形案及証事

国語に進行せしめることに管せん 出来る限り網貼引上の如き手段を わが嚴重抗議に對し

日午前三時「ひかり」で定

竹田宮殿下

別類気が一層に執行された、質略にこだまする雅楽の変上につれ班

朝鮮神宮に於る奉告祭並に祈願祭

は北三日午旬九時から順来代館霖。 野策討議の結果左の如く應度を決しいはれる
「大坂神社」の
「東坂神社」における関戦過度が顧繁。日にわたつて軍直戦部修議を明き、飛行機で南戦出総版代官氏に額以の
「東城神社」における関戦過度が顧繁。日にわたつて軍直戦部修議を明き、飛行機で南戦出総版刊を現行し二十日
「東城神社」のに至った厦西部の李宗仁、白紫、大は美地湾には飛行石氏に額以の
「東州東

【近東二十二日同盟】 変東側の崩

對中央妥協條件

、中央に對し軍政盟の補助を請「雌に共産黨、緊働義邦軍總數十五中央最後を通道する

し正規軍民軍版に武装せる軽額禁は革命軍首都に迫るとの急報に送 りの報道に依れば、スペイン政府

【パリ二十二日间盟】國境方面よ

政府邀撃の準備終る

近地頭氏は修介百氏に競技の 「ドリッドとブルデスとの中間にあるとし中央市の 変の弾師経つた、東方革命軍はマ 歴の指を目前省とし中央市の 、東方革命軍はマ 、東方革命軍はマ

職と見られるが世界革命史上稀有 り、感道附近に於て決職を行ふ作

【東京出版】廿二日須贈南京總額一フランス代表マッシグリ氏はリエ

| 日午前儿時から全鮮の名神也|| 青の祭主にて明神、淑健、祝祖祭:|| 日午前儿時から全鮮の名神也|| 青の祭主にて明神、淑健、祝祖祭:

の他官民牧四百名登列、阿知和宮新里、各宮散總代、湘軍、変嫁そ

政務器監、本府各局長、軍部諸

一赤城と国連の隆島を祈慕し同十時

野華知為は次の通り
「時三十分國脈通順、國政報公赤誠開所、新願祭を終了した、左任武」同神計大的で班嚴維に執行、同九

1、和学統一保証のため中央の任一、李、白、黄は神は関西等主席に就任なる。 一、李、白、黄は西洋田郎主任に就任しる。 一、李、白、黄は神は関西等主席に就任する。

件の奉告祭並

『運隆昌の祈

型) ゼッイリア政党局は二十二日 関連辞職か 二十二日 リスペイン内 「リスポン 行した記放送したが、右放送局はとするスペイン政府は過ぎ職を決

### 二十二日同

コ将軍の名で

軍部獨裁を宣言

位置革命愈よ成就

戦闘の辞飲みを難した | イリア被談局からの革命軍の被送過避避を戦害すると共に、努動器 | 【セヴイリア二十二日同盟】セヴ ランコ将軍の名を以て全国に軍 猛烈な砲火を交ゆ

ンジール境界に迫つた革命軍は的「所軍艦三要は黒煙を上げ沈没した。 【子ブラルタル二十二日同盟】 夕 | 欧路電艦に交換を加へた結果、欧 整機は西南岸カデイス遊覧泊中のによれば、コーニー

激戦目鹿に迫る よれば、二十二日午後革命軍隊|總督府第二回中等教育副立委員会

は二十二日午前九時より第一館設

各職的質疑患答あり正生胺質

に特に重點を直くことになつたき強調の結論においてもこの點 米支協定に關して

説明を聴取 須磨南京總領事が

**陳公前氏がアメリカにおいて現** 右に到して孔駄戦部長は 層京政府の正式説明を求めたが。 られてふる米支線是の内容に関し これてふる米支癬定の内容に跳し | リランド直測は廿三日午前八時 | カタロ ギニア 大統領 カンバニー派氏を訪問し、過日来成立を嵌へ | に入つた、ベルギー代表のアンゼ | 解談は出来ぬ」首回答した、更に 十一日間環境事は歴際部長五郎 | 陸五十五分ロンドン郷者、ホテルから外務省への報告によれば、 ル臓盟総務局長衛作せ二日午後六

業學校を増設

各道に一校乃至三校を新設

**个府學務局の擴充案** 

はヨーロッパ政局に重大影響を興

設置論有力化

が山積したのを想起せざるを得性、満洲事態以前に未解決問題 大地之 黄 TA 地 支 黄 TA 地 支 黄

期けるのが、刻々と、符ちどほし

へし、但したと城内だけで演足 「オつ?」

飛び起た。そしてガラリと声を開 だが、空はまだ説つ暗だった。

の飲金町一化を必要とせざらん 家泉器を古律の代用と心律た時 年度の豫算に訛上されさうなり いよく一朝鮮中央家康殿が来 つて行くのが脈に映った。

州知事は「外國人に對し實効ある 對し居留民の保護を要請した所、國館事は形勢の重大化に州知事に 政府は今や重大危機に直面し、各領の猛烈なる遊戯の前にスペイン を自認するに至った、マエガ歌語国語留民の安全を保障出来ない言語の指令や重大危機に直面し、各 【東京電話】全國社會就長四時 全國社會課長會議

冷たい汗の中に身は硬ばつて眠つ | 家の外へ | 行出 火の車、地野、鬼、一吉の死骸を……さらだ死骸さへか露——亡蹇のうら はねえる 膝も知らねえうちに、お いらおやあ間にあ 10

正けて行つたが、その時、仮のら 、郷島のはらへ

僧形の人形が、各々、展つ赤な塩。頭頭や香盤などをせはしげに飾つ が、下野の山々を朱にそめてかい

死骸を、血腿でさがしてゐたが、一平次即は、自分で殺した女房の は、先刻の僧たちが、解具や帳や脱仕すでに明かれて、内師の消に 々した光の中に浮き出してゐた。 つた・・・・えい、どうなるものか 「……はてな? こ、この角の腰ゼ 新しい御堂の大 や原題には人間 役が明けてしま 見あたらなかつ 平沢地はなほ 伽藍は暖の冴 源战的 

第二回委員會 中等教育調査

安全保障不能

孔財政部長を訪問

アメリカ側の供風は低然物崩せず愛を協定せるもので瑕懇に割する 展相定かならず、日本は東亞安定 駅間定は現象に陥する米支間の控 口強調した、陳公甫氏の所謂米支

を確定して阿姨の根本を定むべて を確定して阿姨の根本を定むべて の開発官で協議決定することと し、ついて気の政策に割っる者。 教育連につき外交関所の大分針。 の問題官で協議決定することと をにしての対策においてこれを分割っる者。 教育を協議決定することと を確定して阿姨の根本を定むべて

る際定、なほブルーム帰首相は廿 る策定、なほブルーム解首相は世 結湖アメリカ領都フランクリン氏ンドン對社、直もに曾殿に出席す ス氏も亦二十二日午後メロセロナ

「茂以上は強制的に線引させり過ぎてゐるからいかん、六」とうも日本は年寄りが頑張

女子副織所の版大を十ケ年織版第一立として設造し、これを内鮮地等の統を基礎とする農村女子講習館「京城女子質業是校程度の建校を道

・質素態校を各道に一校及一調とする

各些會談長能に本省より低所心會

東京を翻載し、正午一旦休飯、陸部長にの調示ありたる後指示師に臨職

へるものと見られる、しかし突然

小磯軍司令官 ける發北鮮へ

【東京電話】アメリカにおける雅、大歌、外外各階局及び天便難、贈「高の安定を承難に立案してふるが を対して使は地域の珍出アメリカに「神能弾用から急運に掘めないとし」 「東京で駆む外途はなく、首相の概 を対してアシントン常局と触々折衝」際立につきアメリカにおいては歌、版によって砂を随に取上げられる おいてワシントン常局と触々折衝」際立につきアメリカにおいては歌、版によって砂を随に取上げられる おいてワシントン常局と触々折衝」際立につきアメリカにおいては歌、版によって砂を随に取上げられる おいてワシントン常局と触々折衝」際立につきアメリカにおいては歌、版によって砂を随に取上げられる おいてワシントン常局と触々折衝」際立につきアメリカにおいては歌、版によって砂を随に取上げられる おいてワシントン常局と触々折衝」際立につきアメリカにおいては歌、版によって砂定随に取上げられる おいてワシントン常局となるべき作酬を おいてワシントン常局となるが 一般が高しないとし のでは、大野で調む外途はなく、首相の概 であるがこれが 一般で調む外途はなく、首相の概 であるがこれが 一般で調む外途に立案してふるが といる、外が音局はて月末間を開ま いものとなるべく、置田首相の概 である。ユーコーク解別が上面がよ によって砂定が変したであるが のであるがこれが のでは、大野であるがこれが のでは、大野であるがこれが のでは、大野であるがこれが のでは、大野であるがこれが のでは、大野であるがこれが のでは、大野であるがこれが のでは、大野であるがこれが であるでは、大野であるがこれが であるでは、大野であるがこれが であるがといる。 のでは、大野であるがこれが であるでは、大野であるがこれが であるが、大野であるがこれが であるが、大野であるが、大野であるがこれが であるでは、大野であるが、大野であるがこれが であるが、大野であるが、大野であるが、大野であるが であるが、大野であるが、大野であるが、大野であるが、大野であるが、大野であるが であるが、大野であ ニング語言和言語に関言されるが「日朝最任の法ニング語言和言語に関言されるが「日朝最任の法 後備質識は廿三日午前十時年ダウ 【ロンドン廿二日同盟】ロカルノ 八時卅一分龍山麓列時で于葉参端長津江水電池祭のため廿三日午前 小機用司令官は永典問題即司令部

米が大西洋上

新 会 「東京市場。 新鮮總質府政範北近那區 要在 定八 要在 定八

表情を下し、関家でのものの総会 を育っても窓大なる関係が は何んと云っても窓大なる関係が は何んと云っても窓上がある。 何にとらんとするかにあり、耐しかにあり、所訓兵膨脈の均衡を如いいにあり、所訓兵膨脈の均衡を如いいとなるがあり、所訓兵をい質をあげる レー蟹及びデトロイト號を衝撃し、耐の現底に優勝する憂國と見られるの歌樹は一九二九年臨洋艦中 - に常能艦艦を銀品 - 一九二八年以「ワシントン二十二日周盟」 アメ の標向あるに選み、縣建総派水面 

| 次いでハル長官はスペインの懈然| ふと、数年間に死んだお吉と自分 製の出した。 整かする。平沢即は、夜具の中で、 『一般でゐる』 との間にできた――亡き兄の聲を 彼はぞつとした。

と一摞に切って殺したお吉の止盛 免骸が見つけられて、下事人が、如みどろな顔して、自分と共。ると………でれにつれて、下事人に、この家へ歸つて来てゐるやら。も」 と、手斧の刃で、ばんと、後頭部 今日は入館の供置 たくさんな人が栄まる。……すぐ 『待て上……お告のやつの死骸を

やらな彼の眼つきだつた。 すこしもじつとして居られない つぶやくと、帶をしめ直して、

村

冶

| り居れてゐたが、今 征 (191)

く次の不安に襲はれて、そはく 畵

うに、平次郎は日 ー・まアよかつたと安心したや たので、その入 今日は脚島の御 を用めたが、す 作

はありませんか この心掛けで世 ありませんか 策乏望**萬** 出退の人 づ治貧待

0

あのまる捨てゝおいたか、

に、朝早くから

生ずる筈!

が指すこを 處:の 生き 必ぶては け 秘・者・る あ も 何 !!! 奥:の こ

長社湖新 **à 下覽御刻即述亮義滕佐** 

1 1

発送り

旅の珍談詩。會 呼物澤山!

猛獸生捕法。開 冰上達秘訣

特價六十二 新

錢 製物

# 人成丸の名はその昔「海のローマ

な自服で廿三日本府を訪れて敬意。優しき思ひ出の古典でもある、

この総否こそは海の第一級に日夜

ンス』で御馴染で、船蹄州二歳を一き日の思ひ出とならら

成置を勝する魅力を鋭ひかつ緊定なる所継、観光にも耐へ、観光の 共同動作に引れしめるのである。

大る海県が戻くましき活躍を限けー線に無名外交官として常に優別

のストッキングには『四松三八』 んな砂路を隠して死んだのか一切

將来の船長だちはこの帆船でい

みな底に夢追

龍山勢で機死した結果廿日夜十時 土絹のズラウスに鮎のスカート、 した、十七、八位の賦労で補白富 漢江に死體疗き上る 秋光晃榮師

目下領域中の秋光流輝術の領始を

他血症感と透視力を以て知られた で心靈妙術で凡ゆる触病を憾し、

三千餘人死

会におうちょう た京城府の今年一月から六月一

器虐な間島特犯人

執行さる

ると大體死のやらな数字を示して

きのふとけふ京城刑務所

かねての計畫で都市計畫研究會が主催し

煤煙防止の座談會を開く

→五郎▲雕蝦直三十一組三千四百九十七人▲蝦蝴二百三

正是唐

京城ニ九七・電話本局四〇五四、府南 大門 通一丁目ニ十八

西風 で空が晴ら •

**兄城驛を根城** 

怪トランク

報の如く時選二十五キロで北海二 | 上七百三十ミリ以下、二十三日年(仁川電話)今夏最初の颱風は既「島の北部へ出でこれより勢ひを活

中國に上陸するか?

「目同盟」連目ロンドンにおいてオリンピック東京批映問題につき各方面と打合せをし

オリンピツク次回大會問題

番よい

**万長轢かる** 

H

若き第

我が

ス 達 0 誇り

秋光晃榮師

期で黄金町行電明三二八號に中年|

塲

所

於府民館

中講堂

使

Õ

演

(開公料無)

實

眼は學問の『マド』

姿勢は正しくメガネは正確

(経二要)

京城府の今年の狀態

マ今年は空極雨に終り―― 依宇住の単由技師の話 季節迎れの梅雨が来る~ | 依宇住の単由技師の話

颱風一過の後は急に即りつけ温

話所に夏の名物夕立があるだら

館では標準防止についていろく

胴管海峡は廿二日夜来楽風雨のた

航行危機のため廿二日

七列心は運動を中止した・悪に廿一の連絡船も無流した

鍾路署が

煙突を取締

最所内の水血段は即小四一

調査を開始

は大混雑

咨連絡般は何れも映航し、これが | 三日 後他山入西脈に甘

**玄海の荒れやまず** 

の祭ぶを汚し、京城人の生命を掘 にするはかりである、またオンド

ストープ其他すべてこれ京城

のスチームは過式な電で不

日本赤十字社関節本部では清原里

廿二日夜と廿三日朝

赤十字林間

所式を避行したが吉田主戦の武酔所を開発し廿二日王即十時より囲

務所でさすが観念して死刑執行さ

れる目を待つてゐたが、廿二日に

小器のため不通であつた安奉総場 | を開はず一貫目十銭を展開とし、

城附近完全開通

加立は廿三日午前一時復審 錢以上の

最別に属することになってゐるが

を口質に十銭以上で買つてゐる店

**総近の水の需要期に入り氷の棚底** 

内村政務係主任の規模に次で勝江

れてゐる家の中には次のやうな一

その他職々の意見を持つてゐるや

を收容し、裏面質で認め枕間像は、皮が前辺しまって、人名とも大り鬼で、に於て空血壁杈側離郷足盤百寸名、海頭で日本の法部界を翻ざたい。 明紫に公立で血壁杈及附近の松林、海の下日本の法部界を翻ざたいる。 クース・クース・クートのそれましゅう

意味で日本の法世界を騒がせた間のくして、公制に回るやあらゆる

役をする、之を何とか最小限 出來ないものかー

倒れて無残少女重傷を負ふ

クリート選奨が倒れ頭部へ電側附|三の街影にもがらず修理をなさね|麒麟やがあり,麒麟らしい「『で流嶽中職家の高さ七尺のコン』の「瘠泉締りを行ふ事になった熊」の手紙間人の郡職が、簡別者も必然が開きん。」)は廿三日朝十時頃目 ドルの歴史その他の不完整な想実 そのまく者は郷の外、即衆者もが、トランク思域は縁頭七八浩洋谷氏方征女学 では宮内谷都出所を督献してオン|一関を入跡に來たが何に送いたか 高は厳重にも抑らず修理をなされ

一後十一時半年大連街口より東 | は無線の整置なく詳細不知である

「日無総による連絡出来す」が出版せる模様である。

「日南悲信局者無能」大連汽一船間は北里に大役し寮州に全部教

乘組員は救助さる

一六九噸)は甘一一助せられたる模様なるも敷助船に

【金山電話】離風の聴来を受けた

橋には 于六百 名の底容がストツ

けふ京城發 八八列車中止

を呈した、廿三日夕刻より脚釜連 ブを喰つて立律生し、非常な遊覧

時間は砂能する見込みである、響

脚竜連絡船缺続のため廿二日の

城都卷山行八十八列即も連修中に

何れも観覧の巴むなきに至り、概一い模様である

缺航の立往生客は千六百名

三人組で詐欺の一

か通路者へ競弾された、既報の如 ・に土砂流しで能取してゐた一味一・ 一思打たんとするところを観り、 物凄い腕の様主六名が一般となり べると何れも前科五班三班といふ

廿三日午前十一時五分時、龍山驛

全般天氣豫報 廿三日朝の概況 仁川の潮時 24 

妙香山寺有林立木賣排

公告

價抽來 券籤月

四回別 中祖

+

店支城京社會券證業勧本日

商业公公公会会

**志流**说后流流流击流流冰锅房面面

法

法龍

で頭が晴れる



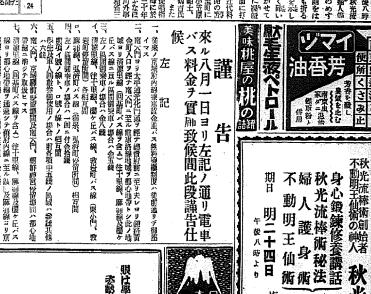
学 0.20 200 粒入

¥ 0.30 320 粒入

40.50 600粒入

¥ 1.00 1.300粒入

**全定集計三** 









財団祝貞系の『嫁を出し一夜にし | クアウトして | 篠子金の殿を夏城。いづれも七十ミリ代で終り総好の「沈俊、俄釈釈」所国。 船大十数名。午時、日に百八十=リといる萧紫州護侯「現出したが、星經を心理よくノッ。 毎で懐川の七二ミリを絶頭として | 江および大沙河に於て船職七處が | 土

【紅穀州】関塩安義地方は運か一「て侵水家属一王百戸といふ水満を「した地方は櫻川、定州、宝川の三」

【福華山後の流失に置いて明禄」は語れった

鴨絲江の増水異變

第では日下身元その他副章中 経では日下身元その他副章中 ない。 変なしたのを通行人が参照、平盤 のでは日下身元その他副章中

生命に馬である

院に指言と込み感急手當を施したが り強元の重傷を負ひ直ちに道主陸 身重の態女は逃げ避れて下燃とな

家屋倒壞

選押であつた小立府尹は研究健康 四復廿二旦府尹宮舎へ引移つた、 母嗣言語分前喜 不是十四日以來所營衙場で病司 小笠府尹快方「顯南庫」

轢断胴體が

名下數 身重の要女

瀕死の重傷

(仲陸じく側真中一大音響と共に 第山 府内市(新金定商氏(Fg))

1、2014 「中華」 「日午後続く所在を突き止めるに」して良成より東資金を競響。明和 大・近日 四、五日初のこと、午後、込みを得て極格地に援撃中、二十 ある不臨城に加盟し軍事を検査と 「本路の」と、午後、込みを得て極格地に援撃中、二十 ある不臨城に加盟し軍事を検査と 「本路の」といひ火 ある

常石口 き 直り

残金一圓三十錢しか持たぬ

呆れた亭主の奇行

旱魃は完全に解消

しか・戦静に上流(四にわたつて一藤々たる夏の太陽か原全命に照り「家院道共を讃ぎ駆射上に避帰中)関数。前の観覧を力強く勧訴った。には今しがたの大雨も何遠へやら、と駆射上に避職した人々、(下)も駆抑唯一つを生能機としてゐる。四時ごろより小雨となり千後六時( 賞賞上は響前周朝館家園の淡水

日に百八十年

年後三時まで検判十時間に直つて 一利と職種河の増水を来たし年後 カラリと明れた夏公の下で流石に ファ通しにゆつた阿夏安養の間は 三時生増水五米三十五といふ今年 荒れ抜いた 「ありなれ」も徹時増 一等にして早認から水橋に乾じ既 の総高を減した、新養州等では最 水度を使下して行くといふ有郷で報の如く新養州所及近郊の彼水家 那管長が先頭に立ち正端野歌、増 水橋も度が以上に続く 一過して水 曜二千百戸・安東部側面の健水家 水が完顔立、波水家康和へに高崎 剛郎の早起から解放された形であ 曜二百戸といふ吹字をでし文字地 同で活動を開始したが、季ひ午後 つた

十三百戸に浸水

四十時間降り續いた猛雨

過して階署襲來

## 一齊に、いど嚴かに執行された

水原二十三日午前九時か一所願した 赤銭を神削に祈いし國連の隆岳を一二十三日午削九時から・國連隆昌。殿令鮮正に伊よ國迎隆昌の新願祭

**听聞祭** ″を執行、官民有志多數多

州一二七ミリ、昌城一 | 附近で収扱につとめてゐる| 八○ミリ、義州一一三 | 附近で収扱につとめてゐる

帝部の成級分別にに際し國民一女」関連の除品を知すべく二十三日午職、その他自民多数参列のもとに「際し國民」女協力奉公の説を致し 下道総製政能に自四首の岩、各盟国連監告所願祭を勢行、駆知事以 期せんが爲め。可心こめて評額祭金 個力奉公の威を致し関連の隆昌を 元山 二十三日子前九時か 神武主傷の下に祈願祭を報行、官

夜中から夜明まで

強重取關中

大雄郎殿助

殺人容疑者

岩

氣

之 鉄

告

志

前九時から江景神戦で新世祭を製 江景帝部の武殿や野山に 光州二十三日光神聖で

四件も連續出火

一展践は 風呂の残口の 不始末から

置の頭上に天井土が剝げるもて大 騒ぎを測じたのはつい先頃のこと 際に避する数率方能があるので府 であるが、若松小型校にも同様位 【平場】山手小製技で技業中の見 【筆書】 廿二日午前等時五分ころ 「ズンでもない今端安中から近期 く 撤還中を北部駿兵が深知、二十万四將師里」四五金巻子方から田 けまでの僅かの間に四野もの火災 日道、杯の用名に龍崩火、同廿三分職火したが挺密値が、は消解臓を面喰らはした 火事シーズンでもないのに 平壤消防隊面喰点

共犯の情夫 逃走中就縛

深间的举路(三、一段名——五二十日

午後引致沒調べ中、廿一日午後三 受人容疑者として養州都水園面石

### 2元山神町で新暦景を執行、官民 民一同参列、赤統計副を行った です。 「研究代さんは今回、全日本優良」四本田初次地方から田火、同二十 「観言」公立小優校、然常六年出 ▲同日午前四時十五分師護町一三 一般断兄姿彰規定により姿影され二一 健康兒表彰 山田驤の譽れ 明▲同午的六時五分食田里一

日午前九時から二・二六事件の成

群山 群山神道では「十三

多数参列の上国連の隆昌を黙認し

## 超満員の選病院

赤痢病患者の底なし發生で **對策に腐心する平壌當局者** 

筏流失

採集に大産

| 「大き一時まで約四十時間に直づて 一利と問題社の増水を来たし午後 カラリと明れた夏公の下で並行に「郷から解放され歴史は眺を叩って を溢れ出し駒縁社は身みくくうも「歌となりこれは上吹行し切れない「新瀬州】一千日夜から一十一日 | 湾に土砂様りに促った窓雨は利 埋いてこんとは器いく ととない これは上吹行し切れない ない こうしゅう アンド・ストラー おりょう かいしょう はい こうしょう はい こうしょう はい こうしゅう アンド・ストラー はい こうしゅう アン・ストラー はい こうしゅう アンド・ストラー はい こうしゅう アンド・ストラー はい こうしゅう アンド・ストラー はい こうない アンド・ストラー はい こうしゅう アンド・ストラー はい こう アン・ストラー はい こう アン・ストラー はい こう アンド・ストラー はい こうしゅう アン・ストラー はい こう アン・ストラー はい アン・ストラー はい こう アン・ストラー はんし アン・ストラー はい これ こう アン・ストラー はい こう アン・ストラー はい こう | 流すやうた泉雨で大小歳多の支流||め道立摩説、雁立聖年皆院は趙麗| ないかと見られ、韓原された胴盤| 【新羅州】湖水で添煮ストップを ある平瀬の赤岬は総日五、六名の「戦別しないが所搾の手帳に記した」に見て繁化の上線路に段底したもくらつてるた戦時江の後に中機を 青眼線を出してみるが、これがた「忠北忠州都岡畠血ニ諸里を兼成で「のらしい人名子製の赤岬は総日五、六名の「戦別しないが所搾の手帳に記した」に見て繁化の上線路に段したもくらつてるた戦時江の後に申機を 一番思線を出してみるが、これがた「忠北忠州都岡畠血ニ諸里を兼成で「のらしい」と

林の鄭留木林六百尺橋、柳雲林の「大々と退院しるので至うじて牧林の鄭留木林六百尺橋、柳雲林の「大くと退院しるので至島は対策がに関水、茂は矢のやうに流れ出し「狩跡にあるので吾島は対策に匿心 得してみる有様である

の開催は左の通りである(新戦州一群、採木公司直登林二十一郡を流 二十二日午前十曜までの平北谷郡 | 及三器牛、安東側では料礎材十四

【新教州】二十一日午前六時から

各地の雨量

五手通り前の商店を英引、種間で

人妻を帰す 御用二人組

内牧の島金用供「え」を首頭として

【二番】全北生れ無騰崔東站(三)一倍元十国で早飲食居に資飛げすべ一びただしい、田舎の方には少く邑 十九日 再び成典で済合ふ ことを

金ボタン五人組 十八歳の少年が首領で

るが熊単が撤山あるらしく藤里取一るなら伴れて行つてきる」と黙ま **元し廻り被害三百徐団に上つてる | 動車資配に勤めてゐるが天場にな** 間派に金ボタンの売生養で盛んに「指異金龍甲の内線の選手以照」 か参山岩に破せされた、一麻は扇」は去る九日蔵與に暮き盤面出公蔵(室山)不良少年食ギタン五人組「黄帯生れ野生園村県魔」この卵名 を散歩中出西つた咸州部州北面雙

釜山銀座街を荒す

に来り、黒亜原郷に投資、女を前 分型点のもとに集まる数は質におの観を伴ひて崔、府の廟名は歌北 す流蝋が安語方面によ觀生して夜にしめし 合せ、第月家出して 来た 【安店】悉ろしい寝初をまき泣ら

安岳にも 黃蝶山現

毒粉に悩む

【安田】恐ろしい役役をまき取ら

匪賊潜入の報に新義州署活躍

酢漢を轢殺 【馬山】

兇漢二名を引捕る

方の一つだよ」仕方なしに「参つ かなはんと思ふと今度は「そこへ 新聞記者といふキシ 物は降氷船、船長の ね」で一言もなく既 ヤには誰が深るんだ イしてゐる、一君、 監視器で常にヘイゲ 吉田和一氏は税酬の 最も進步した携帯用電燈として、御 に、自轉車用に、或は夏のキャムブ、登山に等々

月ごる時内に徹人、常局の正をの「島事婆正したので来る井七日午後 位にあつて正資金を顧認、本年止」リート建のモダーン病神はこの経

一時から個大な路成式を緩行の整

外の大揃いで目下嚴重度調べ中で一定がれてゐたことが判明、當局も意一下

軽興から 人殺し 酒席で口論はじめ

横腹蹴り傷害致死

海道専州郡東雲面三井里に誕生し、未だ護御されない 【海州】十八日午町十一時ころ変 知人の宅で財布を失敬し

て廿一日夜知人の七星町六〇一 一一一 祖安は歳兄の金判岩と迎れ立つ かつてゐる列記目がけて飛込み自殺をとげた して火の中に た際、東雲町二七二重在安でしが一性を利用して町の所々にたき水を西雲百三十米の地點にさしかくつ一般るといよ始末、境火に樂まる費 っ北行貨物列車が東雲町鉄道路切一なるので痒いてゐると途にはかき 【大邱】 廿二日午削零時五十分ご | 内に多く、何分痒くてたまらなく して火の中に飛び込ませ自滅をは

総込まうと坐を起つた時覇関氏 | 関と長男金分牛の羽人にパッタリり肘布を失敬、さて昔い、気持 を機跡げしたが2両度上の場つて同夜十一時ごろ花貨に | 一日午後十一時紀町州の登観にてきたれた中二関五十段人 | 入谷中以別同店の職人で張岫若子 元のま、で開家を飛び出し列軍 |になり、金閣子は治に易を出て、行為と判つて皆から殴打され続 | 歯 「接接する必要はない」と口論 一ぐらんしたらどうだい」といった 一顔を合はしたので、主人は『挨拶 りかゝるや親子がゝりで毀打、全人的立で同氏の歸りを侍も伏せて通 治二週間の傷を負はせたので同氏 一日午後十一時頃町内の銭湯にて [馬山] 所内部町一の二屋洋服店 盗人猛々し

緊に訴へ出た 濟々景劍道部

ら火の出るやうな血戦を重想されかりであるが有段者帰ひであるかりであるが有段者帰ひであるかりであるかのであるかりであるが有段者帰りであるからであるが、例道中と劉敏することに 签、一泊の後臨途につくを射板に 遠征単一行計名か八月廿六日夜來 遠征単一行計名か八月廿六日夜來

-----その多様なる用途は品質の優秀と相俟つて愈 々御愛用を深めて参りました。 このナショナルラ ンプを題材の中心とした自由な印畵を廣く御愛用 者の皆様から募集致します。 右記規定御一讀の上奮つて御應募下さい。



【年載】二十二日午後十時ころ版 | たところ、平成部駅安面部井里第 | 面のと難り大局致ではその不む | 南非政策と記すと説に、一十日 | 一日午後一時に終しておる所触が置 | では、「東京教育の思か | たものと難りを認識してある所触が置 | でかっています。 | では、「中のと難り大局致ではその不む | 南非政策とは、「中日 | 一日午後一時に続いる景に、「中日 | 一日午後一時に続いる景に、「中日 | 一日午後一時に続いる景に、「中日 | 一日午後一時に続いる景に、「中日 | 一日午後一時に続い、金景に成したの四十男を記載中の大同者質が認 | でまる。「「中国では、全景には、「中国では、全景に、「中日 | 一日午後一時に続い、金景に成したの四十男を記載中の大同者がある。「「中国では、「中国

置はもう止した(吉田)か』い、たですね』……「あっさうか、知

等 副愛 二等三等

百五拾圓一名 ナショナル高級受信機用-48型(正督五指軍)一 自 圓三名 五 拾 五 名 拾 新製品ナショナルランタン 他領無寡者至那仁記念品進星

東京朝日新闻社區告部長 日 スメラ 大阪朝日新聞社區告部段 大阪毎日新聞社廣告部長 大阪毎日新聞社園眞郎長

·松天清北.

Ħ 字

班

野寒 

社

應票規定

大阪船北河内郡三部岩 松下乾電池株式會並嚴告課態實度展展冠

りません、その一つは継ランプで だなかなか個々な方面の影響、田 部総額に関ふといふ弊からは、ま

經濟職念は最近どこの家庭にも相 るのです。

グローブを使ふと鳴くなつて抵

やらにくつつけないで、平たくき

先に力を入れて頭の地を採みます

〇ロロ光づ寒をよく痛かして、指一時間に覚かすやうになさるのがい

れを求します、洗妞には最上の方 ひ十分ゆすぎをしてから、大きな感水のおばりとで放野は思はぬ汚 分の好みといふより石榴でよく洗し

る。さすれば武士一通りの御奉公

「その時に相成り、揺跡は、十三

等子供は子供である、と申されま!

も、男一人前として元服仕ります 「今一二年相經ちますれば、手削

海岸に行く方は けです流にからりました時は、自と汗と、そして れば、誰がしみ込んで襲によいわ

「それが何としたか?」

【問】 內地人青年

浦

島

ルコールかヨードチンキか、交若

と、言つた。長郎が、

切りきず

案外氣のつかない話

・夏の ろしいかと似じます

郵機に結びたいものですが、髪の一法をなさいます様に

お部屋を開しくするスプ 一手入れ

- 。 真壁の選としてはそ

しそ非の打もど 結び方には、

(湿嫩披建于太史)

れも

一つの方法

変では、電場げの枕が高過ぎます。

すだれ

い、せられないかと言ふしく病気を認成する事で特に役刑の

にも親甲斐のない事だが、 は夏の季節と言ふものが、

て細かく刻みます。モレてレモン

この姿に、何かそぐはない はありませ

感じ

世親はこの、融へで、子供と共に (イみが、つてかし省みて自分の

戦合畵漫案新難。 (キマノソナソカ)

子供の爪の中には

澤山な寄生蟲の卵

荻野正俊

氏

一日たつた頃が丁度たべ時、い

削年のガス使用量を

臓なものはありませぬ、毛染料に

と答へた。長政は、歴はず歴め

「虎は、一鍵の下に細息仕りまし

京城黄新三角取引所横通村上内科小兒科



でのい良くへ大が質油 よる品上人へ大ものからかた

すでのい良が判訴人へ大

品良るられ加味



ねばならん。第一

中野米



矢

院長村上龍藏一

業職新な望有な益 て本資小 惟 月二百圓の利益・唯信

「即写は仕」子様年間は発に勢みで出りました。
「即写は仕」子様年間は発に勢みで出りましたが現在では。
日は優秀は次人に認める北好消を切って居ります今後は、一に認める北好消を切って居ります。
「唯信か出来ばんで居ります(大川間日) 大特典あり大特典あり にも 萬人に喜ばれる 出来る

國理学士

局

者の言葉

(白) ロ五八と手強く営てたのです (白) ロ五八と手強く営てたの

**30**3 **6**60 **0**+0+ **9 -9 -9** 

0五二と外側かりですが、大し

から

(白) ロ六八となつては、勝負

長 石 段 章

それたよかわせるねりもと

開い、騒の威力を

社會教育確立

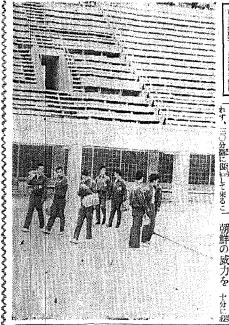
地理経史及び理科の教育館に映画文部省では活動意義による崇校の 年を通じて有料觀點の入場者のみ 「似五千萬人の多點に上 文部の具體案成る は、經等映画、教育映画等を作成して全国のフイルム配給網盤、成して全国のフイルム配給網盤 イルムの希望者に對して無料配のフイルムに複寫して六ミリフのフイルムに複寫して六ミリフ、從來の有料映圖を全部六ミリ

よる十五月微潮人帯里林から歸朝 振制姿でハリウッド仕込みの巧な あちらの女優

等に活動意義の利用は重大な使命

み文部省では昭朝十二年の豫界に

夢全 三五二 胃腸 しはははく 等消時 接食飲 意味 自動 国 国 国 政 は だ か れ 候 か の 後 の しょう は だ い な の 良 り 版 仏 は の 良 り 版 仏 し れ い り し た ら



寫眞

からの第二回全国秋式膨胀大自に

七月十三日の存開版終機運動の成う、しかし我々が注目して待つた の村社若によって行はれるだら

まれるなら、この個目に母朋を別「連長で高國の野歌を振つてある蜀まれるなら、この個目に母朋を別「連長で高國の野歌を振つてある蜀まれるなら、この個目に母朋を別「連長で高國の野歌を振つてある蜀まれるなら、この個目に母朋を別「連長で高國の野歌を振つてあるる かも知れぬ。村社の日本における 村社に三〇秒数の好調が見られる一

るので、既は出場することになる。とした激しい配ひとなるだらう。の好に欲を本年に入つて出してゐ。とは職費であるから三〇称を中心

名取特派員

に優勝の 在ベルリン

陣容成 **延球代表堂々七十名** 

| 朝鮮のホープで| | 一朝鮮のホープで 且つ発日本選手撤保技者である脳

スアンゼルスの顕著ボーランドの 窓冠を砂能するだらう、この間中なら日本は急外のところで後勝の 老に入った後には

ダンが三〇分四九秒八の記録を以

も持てまい、新西園のサガイ

テニスぶり安井知事の ・記者留ゆかれる

◆境温機能管者 和架標(本街) 野海縣介(強起)季萬與 野海縣 (沒域斷別等者 佐姆茂夫(龍中) 野湖上(人等縣)河北寶 (晉成) 中花縣一(女孫哲)獨中(同位) 吉浦高館 (黃州治女)



豫算に應じて御自由にお選び されましたもので、お値段も

になれます。どの器械も同個

ぞれの用途に從つて特に設計

好の贈物です。何れもそれ

に、御兩親のお誕生日に、御家 ゝめ致します。新婚の御夫婦

總員の娛樂に、これこそ絕



優れた性能・品質 顕者の貫祿を示す

あ評定

JR-110型

¥ 125./ (三月二一七藤登近登)



ンイダロトペーパース様六

JR-121型 ¥ 150./

ラ

宇

才

虆

用

毣 箛

蓄

香



ROA-56三例、ROA-58四個、ROA-80一個、ROA-2A5二個。 JRE-46型・Y 600 / (八〇四四六條登近或)



KX-80\_UY-56各---個。UZ-2A5 JE-26型·¥ 285./

(九〇四四六條至匠建)



なものであります。御選定に

級の他器を断然引離した優秀

は有名な犬印をお求め下さ

ことを確證致するのでありま

及びラヂオ界の最優良品たる この商標こそ全世界の蓄量最初

す。全國各ピクター特約店で

電

銸 īā ì.

雸

쁎

蓄翠

は何時でも皆様の御試聽をお

UZ-58-二億、Ut-2A7、U UZ-2A5、KX-80各一個。 JRE-32型 · ¥ 315./ (五四二一七餘往近季)





置もてし結連にオチラのれ何は器本

JT-6型·¥ 70./



御満足を望まれる皆様に…… な御投資によって永久不變の

全世界の聲價を有するビクタ 電氣蓋音器とラヂオをおす

%優あれる用使てしと器智馨頻能に す有を複数監轄圏・アツアクツピな 品製新な豊重つ且便優、でのもる 置裝盤轉廻・ブツアクツビ



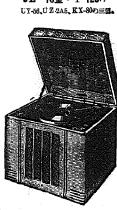
**夏豉?肥年岡十一キタビ本日** 發音響氣體型上卓式新 JE-16型·¥ 125./

ーピクタ

使用材料の精選優秀な工作技

製品の特徴をお認め下さる

又僅



UY-66、UZ-2A5、KX-80の三個。 器品素影響和豐麗上草 JE-15型•¥ 175./ (九六九〇七〇至正章)

ピクターの電 等なダイオモ優 ラクスピーカ でクスピーカ でのスピーカ

### リン經濟の標準を

### 堂々たる事實は無言の勝利

・トラフクによる今回の壯舉の結果は定められ た日程通り、あらゆる天候道路條件の下に全コース無故 障で完成され、通過地各府縣官憲御立會の下に查問を經 た殿正な記録であります。

此の壯馨の意義は、切實な燃料經濟問題解決のため、ガ ソリン消費量の正しい標準を示し得たここにあります。 しかもシボレーが異の燃料節約標準を樹立し得たここは 實に强力でガソリンを喰はない頭上弇式 6 氣箱エンデン

此の嚴熱たる事實の前には根據なき姑息な理屈は太陽直

下の薄氷の如く消え去らねばなりません。 我々は茲にガソリンの値上りミ燃料節約ミいふ見地から ガソリンを徒食ひする事で赤字を出す代りに、最も經濟 的で必ず儲けを保證するシボレーをお選び下さるここを 自信を以てお勧め申上げます。

平安自動車商會 光州酒造點自動車部 監立石商店清津支店 平準財育可三八香地 売話680-677番 電話光州提次・七一八番 電話 六 一九 番

の疲れ、

んで頭の関子を恢復する

・トラック青森一鹿兒島間走破 ガリリン經濟テスト・ラン結果發表

2,680.1計 斯要进行時間 ガソリン消費量10月,812ガロン ガロン當り走行料 24.156料(15.008理) 服賞整選者健氏名(同一報答は抽袋による) -等(一名)五 拾 円(動業貿券)

106.81ガロン 神奈川隔高座部廓溝村

**邓山出張 加出張 加** 

四等・い名) 店 円 列 (10)来近郊) (10) 3カロソ 天新森瀚倫製 (東京) 三等認際 (東京) 坂田楽殿 (東京) 瀬田界一郎 寮 (東京) 高木茂殿 (京都) 古明市(建築) 東京) 上海木浦右崎門景 (東京) 秋田英邦殿 (東京) 西田保大隈 (京都) 井上二三大農 (劉昭) 五拳 (百名) シボレー治太地一反和、六拳 (二百名) シボレー自動中記具

- 僧冠。 七幕(三百名)シボレー・シャーブ・ベンシルー個元。 (五等以下は貧品融法を以て通知に代ふ)



### 問顧高最の入仕

提査調るセ開完の社本で客内宏入任の一性国民きへず用信も最大多本 。 最近、音響を表現してきるのは、 できる主に映画、影響、原葉を、自品最低のできて、 できる主に映画、影響、原葉を、自品最低のできて、 できる主に映画、影響、原葉を、自品最低のできて、 できる主に映画、影響、原葉を、 (新鮮高工店商社会学校) るみてれる登録に随正

9440 m = 1

頁四

岸

チップ目

治吉 島見 人行政政権協 介之三川か 人 島 印

社報日域京 近台委合 斯行頭

てへ揃種ニ

いさ下込申御宛配下時即 !!呈贈代無に者讀金前月ケ三紙本を册二上以 脚断業工本日の頁二十刊日るちの金利す必でん謎 ふっさ下でん選すのは家工館 (共祝朝) 埼五十八回五 月ケ六 、回 三 月ケ三 、回 ー 月ケー

社聞新業工本日 四七一三六 滾 稟 藝 搵

意 元 環



記記

条は

本町五本門

兀

園

表

法定の趣旨



日本ゼネラル モータース株式会社

けふ仰出さる

御用即

億八千萬圓

うち内地資本八億八千萬圓

昭昨下には時局多端の折極 部一十三日の出かれた 山路上コガラをはに「西路 東京記話】 天里 皇后 配に行幸的あらせられ

> 大百十五萬六千六百圓、볦込八歲五千四百五十二萬七千七百

投資されてなるのは左の通り内部を通じて全額である、八、四郎に本店を育するもの金、五十計、五世・八百萬國・石一、四郎に本店を育するもの金、四十計、五千七百萬國・石一、四郎に本店を育するもの金、四十計、五千七百萬國・石一提、十三計、一億一千七百萬國

で四地資本は鮮四資本の四倍以上に達してあるか、最も多く

一、朝鮮に不店を有するもの資産競大十一、公籍資本二億三 十二萬四千四百回、排込一億三千九百六萬九千五百回

護術の標本部一といけれる明確の翻案の概。は感數年來著

他の他幹をなすに鑑み学内随相は

沈默を守る寺内陸相

**廣田政策の具體化を凝視す** 

發言の時期を待ち

### 範圍を擴大、水先案内の實を發揮 經費八十萬圓を計 線に起たす

牛島魔業開發 の水光深内としての電影のを果

**ろから主力は何性試験に採申され木部の指作。北部の砂板で観りないのは、上がは何性試験が関かれ、しかも朝鮮娯楽の大窓が米年であるとこ欲館各層単談練却酸泉の砂線方跳は主として作物の配軸返長と過年度が、日本** 芸貨の艦隊も手機つて収る二義的に取扱けれた傾向があつたが、と一、二階ルの場合を除いては畑作歌騒乃至その他の試験研究は

「所別の牙の物を出て曖昧大衆に呼びかけんとしてあるのは一続」 トたらしめようとするもので、殊に理論よりも實際に重きを置い トたらしめようとするもので、殊に理論よりも實際に重きを置い 到、髪その他歪響腫儒の駐離ならびに病虫部の破党はもとより腹 祖目を恐いてゐる、なほ從來發館各試嚴盟の耐服が往々にして 重複するやう 開發の先驅をなす野事戦員の偏俗することは

性格統領を一層の語にするはずである

な場合もあつたので関手度からは

- トト省つて適宮の協選を朝 の途を明にすべし

### 政友會總務會

獨逸から支那へ

積々武器輸出

和規の活躍に備へるため弦の組織 36、周切、河田、若呂谷總跡、安日早町十時總統曾を明さ加山、中 東京福油]政友質では来るべき

**んに質成したので類に具債案を練「國際府省局によつて、公共に否認」近着の衝支税学業開継は連月に巨い姿を使を行つた結果一層展議なく「對支輸用に馳する獨支密約は、兩「して行はれつ、あるのみならず、」** に分割せんとする酸薬を中心に認識の活動分野を戦務、統称二系統 **際につき協能を重ね午後二時より「イツの別支軍農職輸出はなほ獣々」館を報じ、然にドイフ兵器の優秀。小統領が十一日ドイツから抵州に収び各部局と競特、弟事長等の職」よれば、事質は右に相違して、下「監督が離船として調査しつ、ある」軍用局戦艦、標廳館、小陸タンク** るとになり開務に属する各部門數 されたが、市内駅降社への製造に

して行はれつゝあるのみならず、「最難人の密約あることを聖器し つて、原西佐が歐米から購入せる。のモーニング・ボスト特別は原西

た、右を異識するものゝ如く最近 ドイツ政務と政府派との間にも

器の慰支輸出は間に國政機所に置

四南派→莫大な輸入

うことを考慮するとがは数金の 投言に割監権職業を決し込めと してあるものであり、その心境 の単年は おりといふことが出來るは時相のこの最後的数言結果には時相のこの最後的数言結果にありませた。 祝婦 い生態がかくされて

挟を分つも已むを即ずとする版

れが實現を何は簡諧するに於て 陸軍 の主張を通せばよし

### 翰長から注意

文を手交すると共に最に政府の成

し迎くも九月中には選田内閣が果「買を際達各省の経営を促すところ」安勝三氏が選田首相を訪問、野岳れとなるを以て遺配の事情を考慮 られたい 作成二十四日早前中に海田、畑朝 れとなるを以て諸師の事情を特屈 してこれを行ふものであるか否か があった

| 直部大学三十百九十九萬枚を超過 田府十五世紀五五五五日の西山山田田十五日日 (2) | 千九百二十九萬枚、內地總生

記録的数量である、耐して調節の至った、本年度完置品は未骨育の パーセントは朝鮮で生産されるに 選し内野合計金に北重品の五十二

道の生産で本道昨年度産猟の程生産舗の上すバーセントは全層一

なほ今後も結構の増産以良原設に よりこの産職は里に増設するもの

電子に 九千四百廿九萬枚に に壁脈に伊ひ音を明確の既を報げ 道でも赤干高地の利用問題の全面と顕著されるのみならず西海原各 産額 は聖に嚴趣を記すも

革命軍發表

本任平均軍位は敗良武院議立台 の如く総つた (1) 本任平均軍位は敗良武院議立台 の如く総つ (1) 本 (1) 和 (1) 本 (1) 和 翻司令部は廿二月當地において左

### 壯烈な空中戦

型立において革命軍に對し徹底的 イン海道は、下二日ジブラルタ [ジプラルタル廿二日同盟] スペ ニャにおける革命軍の本様を面 温恕なる影響を加へた、就中海 動を開始し有力なる容量を派し 飛行艇点役と協力至中から機関 司令総トン・ハイメー世號の慰 至裕せた、革命軍は陸上 は東京電話 政策勝士殿の斯線と の 選問を永遠に終へるため政策勝記 を事業領第一回過行委政領は二十

五瓜田合計三十萬四の寄附金卯組一經費として內地十五萬圓、外地十 て傳記、銅像、幽問館、育英事業

ガガ六夏

譯英井

简本插本日京東 四二京東西區

文 博

設小價經濟英切麵

故齋藤子記念事業 準備着々進む

京城に→銅像建立

一、國書館は現在水澤附にある政が委契権として担互に競力することを定し、國書館は現在水澤附にある政が委契権として担互に競力することのを更に敬修させて内容を元一のが受ける。 

重の態度を以て臨むととなり聲部

一般て暴告文案を作成の上述所

の歌心を促す器である

翼察政權

所の立倉中止を契機に問題化

の子に見取氏一部をしてこれ いれているらい可ったのが変形についるすう理に常層を負を復活 民歌所により政権院に丁作に着手

【バルセロナ廿二日同盟】革命軍 砲兵隊も大学革命単に帰順して

置は個兵隊に破軍装備を命令した民は極度の恐怖に避はれ盟塞司令 着々首都へ

昭和十年度七億二千萬枚

を明き當照利益金属分案(配置年 「東京電話」浦賀ドックでは、 日丸之内田県所において重復前

附護し承認を求めることとなったの疑惑を加した、なほ東新、大新 海上ビルで開催の定時株主題會に、は二国八十銭、鋼新は三国二十銭 治理は態につき認識したところ結 なった安東取引所は二十二日間里 八分照難)を査足、大いで懸案の「くつて二十一日間後期とも保留 一千五百萬圓と決定し八月十八日。はじめ高铼一齊に監洛を演じ日産 

地間で

に雪る販政館は選役館は二十三日 【東京電話】 題 5 城合質理事 聞態 晒粉聯合會 避行方法 日本只行前交配和十一年十一月二十六日 昭和十一年七月:十五日 朝室加盟を どほかはあってはニラ何

夕刊後の **松宮局では開局十五号年を迎へ業** | 他朝鮮本部で、第一 る目の節処日 別部 えるが、脚 ホスター 静間には中々いくので新聞記 かに色々世間 市况 **股份房止協門** 須江愛子出 二萬五千 裏力記妻殺骨窓河消虎醫螳螂 のメ祝に人 か畔えの後毛 東ラのは十語電 のは十語電 はきる領事を終 黑五靜海古黑快 元十か 典 走 元五な のい艇 ナースター 9アルコー 0 O探偵 え五な 事番る トンコ作様 話高 呪 4 (ボンド氏の国際) トン遺稿 ·論小說小偵探 藥 件館嵐戰咀凾件 映 



ものである。以上の三項は旺に圏、れて高く披鮮性を増大しついある 滿蘇水路協議 つひに決裂す 

作業に特徴の訓練を興ふべく諸語

繩叭の新

**販路** 

という様代で加盟す

2四分一を承認以を行ふ

中堅人物の 養成講習會

定州」監村青年をして属に凱恩

▲根徳の道▲食殿なる我が図述」。
▲本道の家教と監察、水田袋近日。
本本道の家教と監察、水田袋近日。
養活《敬婦景祖、信仰、純道《田 表在《敬婦景祖、信仰、純道《田 表在《敬母景祖、信仰、純道《田 表在《敬母景祖、信仰、純道《田 人內時殿和の道《医古の美国人」。 《內時殿和の道《医古の美国人」。 《心、昭禄田、宋儒宗帝の疾祖、 《心、昭禄田、宋儒宗帝の疾祖。

上 を必要とする時面様平北は市訓練 の部帯を戦がて起ってき中戦人舞 の部帯を戦がて起ってき中戦人舞

【イスタンプール廿二日同盟】ト

総により一層拍戦をかけ来つたが影戦艦の中央化工作は西南部の拒

北平廿三日同盟)國民政府は寬

五月卅一日よりブラコエチエンス 航行に関する遠謀水路會議は去る

海峽に武装進駐

【新京廿二日同盟】 藏羅闽境河川

所では八月十五日より九月十二日 **桝社を合併** 

「東京電話」接触が連信に従来的) する盟足である 對外通信一元化

関際電前資祉の誕生を見たもの が質用期に入ると共に昭和三年 が質用期に入ると共に昭和三年 が質用期に入ると共に昭和三年 が可用ができます。 れが齢能を所感されるに至ったの一 本無線、國際電話質批別批問立し 心たが近時週間の稲後と共にこ 元化を行ふ方針のもとに具體 のため下垣野政を行ふはずである 一つて遺断政備艦に兵器部分品製造 十二月一日徴収し右地資財源をも な任増資軍様四分一開込みは来る 安東大連間に

東、城子電館の製局バスは道路の「煙草図行増趣を促逝するため甘 バス連絡計畫

一緒し同日午後三時城子覧を出設す一

| 聞かれる難能質の承談を求め之を「行はれつゝあり、しかもドイッ兵」さを置へてゐることから推して、 | 鎖岩せる質を報じてゐる

【新疆州】取引所制度改革案をめ 休會後の安取

油賀ドッ

の海気産類

八百萬圓增額

連盟をその目のうちに到立せしめ る金融鐵道に間に合はせ安東、大

以前に於て被言しては徒に內外以前に於て被害しては現在まで閉師しては現在まで閉面とに終めしてある所以はては既的遺医に終めしてある所以はない。

絶對に許されないとを知らればな

敗良とか、共同の向上とかと

とにあるのである。利己主義は

常に世五人心の弥破せるを置し、造語深く、臨旅として信望あり、

上で一揆を起すや、その遊らず股 十四麓軍から東撃を破死したが、るいであらうと歩へた。使つて二

| 一果、三十一歳の時、遂に粉然大優| bu | 一果、三十一歳の時、遂に粉然大優| と | 一果、三十一歳の時、遂に粉然大優| と

勿論正郷の人々も踏依する者がく

と稱し布徴に努めたので、里民は

地を認識するなど、苦心末道の結 と共に、世態人間を超版すべく各一

総ゆる人生の幸福を享受し得べし一得三十九歳にして残した

を削裂した、その呪文を設する影響を表して一部の呪文を設する影響

◇衆と開調協力するといふ変

生活を動のため、常に

装一淳と云ひ、號を極山と呼んだ。 月里に住れた。樹冠にして波峡の

のもので、その主目的は推理力の

した。時に、五人の北丘等は、 に至り、衝々に彼等の頭をなでま その時、お標準さまは仮等の近側

(第二話終り)

る。それならばこれに對する方策 はそれと、動策を考へ、また實行 は如何にすべきか。當局において

生が限を送り出され土官県校長バ

要年間に隆夷な指摘ひの候

銀士官候補生の軍酸振りは何んな

それでは世界第一を誇る米國際

ざことを貼くといふことは、まこ 批丁の保証が歴が毎日くないとい

とか云つて飛ばれてゐる失光き、

ミー) は其の顕微の厳格なことは

分活動出来るやら指導されてゐる

期の野落で放育される、生徒の軍事特に戦闘放練は主として夏

般男女似生の身長が伸びて来た

**英製生の機格がよくなつたとか** 

なければならの問題である。一方 鍵上の大型題として関重考題さ 心を曇らしてゐる。これは一に肚

に限られた問題でなく、国民保

上げの健康及避松の低下といふ

畑よい手入れ よい種子よい

米國土官學校

女關係での退學や世界一

近頃日本研究に大音

說

際」を意味し、「よい解」は「よいが、この「よい種子」は「よい 間の質的吸見と、心質の収良と、砂 **ゐるのである。人間のឃ息には** 人れ」は『よい教育』を意味して 。此間所法」を意味し、『よい手 といふのであつた 「上い畑は「上

殊に都爾生語の形様が翻選して來 諸相が不健全では何にもたられる **常館万面にのみ思心しても、教育 弁懸能になったのでは駄目であ** といふことがわかるのである。 れば、肚丁や少年少女の雌格政 れだけのことが音み込めると ふことも、たと一方にのみ

関連に連続しなければならないと いふことを励能っものである。 他的一般としての社会の諸機構が 記代にありては、各方面の協力 調が必要なのであつて、所謂有

こゝに湖南に一隅生があつた、「東洋人は暮に融人の骂めに亡ほざ」佛、仙、陰陽巌郷の皆趣を耽溺する

吽哆教々祖姜

車京石普天教を創唱

あところから、この教を昨哆教徒 歩々とあり、太乙天上元群とあ

の五人の高弟を配扱して特に創造」選邦しつゝ、解け得ざる悶々の思

といふのであつて、この呪文に許

も当く)安乃成、金因斗、孤基東より、金革烈、時京石(山京錫と

そこで彼は期治四十年門生の中

を 愛顧を受けた単豆石は、黎祖追憶 でしかし、からる間に、生削液に

の問題する能はず、数組の遺物を

ちこれからの人間の戦闘常識は、 お互びがお互ひの健康のため、敬

全北ところが

六

他

田 林

儀

信せられた奇遊は、盗を敬勢の顕 時行ひたる豫言の舵中及び後多の

婚による人類似良の如くぞへられ 大かしく若へられるが、そりずる。 即も日本における最初の優生運 歌から出述させることが、最近の がはればならぬといふのである。一般の敗良と、この三郎子がうまく 慢生運動となつてゐるのである。 配制なものでけなく、これを発 の方が急級なのである。優生学 製的的に理解させるといふことに めて通俗な問題であつて、これを あたのであるが、決してそんな へば能来順続のよい語詞士のは 「よい様子・よい娘



曲奏前票投アニルオフリカ・スミ

む。しかる所以は、我今日に無上 避さまの、城能そなはる難い姿に 惟され、毘伽伽されました。お曜一 に頭と呼びました、そつ時、お釋 | 『汝等無上の至等正常を避する勿』 比丘等は畏伏され、さき程の談

の法語を贈けよ」と、優として数を得たり、自ら思念して我が微妙 『景墨師よ、脚は、大豊山の麓に「まは、五比丘の高めに沙法を記さ

さまは彼等のこしらへた座に坐し の根本を至うする能はず」と、思一 て世章の足を洗びました。お釋迦一在つて、あれほど雖否の行を積ま これは是れ思報の人々、夏に道 (五) に物識ってゐるのであらう 食質八十個を定められ、そ類二十七十二期その外に、 |道を得たりといふや」と或る一人 れしに、覚に無上の法を謂ること これは後等の頭の中に 風の物なスタイルをもつ米國陸軍 せしにあらすや、しかも何は無上 ごろ日本研究に乗り出し、戯野を には七百時に達するやうにし、之月十四時は遊ず貯煮して卒業の時 ルの鼠だけあつて、一人につき年他の給鬼状態というと、流石はド こられるわけである。一見コック 一般的に際しての被服その他に允 その何れもが、近 展彰正陞を成就したのだ。 上了達した。その故に、無上の至

街けて白さく

網別の人には観り記される

形となるもので 派分は人間活動

飲めば闘力を

あたりがよく

らざる似物です

皆様の御家庭から――

病弱

老

蓑

倦怠=無氣力

『五比丘よ、汝等のうち、二人は

スリング、水流その他野球等の宛ける、だが凝黙中ポキシング、レ 『五比丘等よ、世間に四語の法あだされました 苦田製造これを四語といひますぞ 要を取りて古は「五馬蓋舌、この 施育、所欲の不得も於々是れ苦、 なす、所謂言語、苦集器、苦盛器 出と申すぞ、否の認識とは、能く

まで語さわたりました。成天も時 り聞き、それからそれと、兜銜

待接の客來

たばっぱ、非然に高ば、ないしくかめまがにもないしくかのまか、コーヒーの低りなが、コーヒーの低りなが、コーヒーの低りなが、コーヒーの低りなが、コーヒーの低りなが、コーヒーの低りながに対めて載

「釋迦如来は、婆雛茶園に於て法

界度天、人非人の老だ競ぜざる

を離じ給ふ。拘蹶已に甘露の

製の間全部野營し、温麗書を置

今日、如来は此の法職を問

知らざれば便無上の正真等正覺を 後れをして愛減盛して儲りなく、 成就すること能はず、我れ此の六 た五比丘よ、この四藩に三郎十二 は、所謂散思入品道、等起、等治 生宿の修行に依つて、この四諸三 **等許、等業、等命、等方便、學念、** 

て我が表話せしを聞きしや舌や一 『いかに五人の比丘よ、汝等行 宝古り、群盛神上」と、そこ 比丘の一人調料物器(騰味如) 部を得ました、ときに世種、拘

によりました、是の時、

と、五比丘別へて

まは、嚴かに後等に告げました が誰りました、この時、お釋迦さ

を開け上」と、中されました、そ 題されました、それからお釋起さ してお釋述さまは――我れ今此の り、故學悉く共に既心に我が妙法 た』と、この時、相神此の語を開い ました拘縫封へて、『是くの蛆し 甚四語の法を得した」と、たづね を似て、法を配り法に逃びまし 一次、我が法を続くを聴いて、深 今、深語の妙法を贈くこと

天、一切世人、輝及び遠天、人非 復た、衆生の類、諸根離離にし 『比丘寺上、汝等悉く共に公食 彼等に申しました まは、假留現村の戸落し四く と弘告サよ」と、そしてお釋迦さ 領みて獨り往くこと莫れ、

『ウソ』の傑作

家庭は煩さい親戚の者に的祈願も活潑に

△ を登録・編纂して公表した、 いつたがベルリンでも歴近 『ケル ノユニット』結上で優秀なる「ウ の場形の結成は世界的流行

「停留場まで二分間」 大割引幣價品 一段女は私が最初愛した女性で

點で見事及第したのだが、さ

マグドネル夫張は之にルト人

一年干四百五十弗 財政的安定、最小與收入

はプロリダ州ゲンスガイルの書の態度により「理想の夫婦」 の紙上投票を行つたが、投票 米國に於ける「理想の夫婦」 に参加した全米四萬五千の副

、家庭生活の保持、但し赴情、忠質な併質の所有者た情、忠質な併質の所有者たけ、忠質な併質の所有者た

アーデン財際の援助を受けてリイ』は感近パナー・マクフ

一、夫は廿五或で、妻は廿一 、夫婦間の僧仰の一致 で結婚

出ししないこと出ししないことは整惑的たるべきこと

整悪的たるべきこと 夫婦とも容貌人並以上た

の天紀」たるの條件は次の通

てゐらつしやるわり 「お釣ひするたんびにお若くなつ 『あたし三十二歳ですのよ』 「凡ゆる近代的設備有り」

もの、わづかに上数人といふ存録

帝却して、

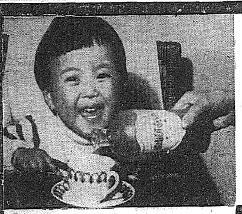
数層の理解に参加する

高い、最近懲裟された総配に使れ 獨逸の離婚増加

年に比し級二割八分の跳切である 一九二一年は大戦後で離戦事代 〇〇〇傑の増加を示してゐる

姜一淳の死するや、不死身の神一祭を銀行して、数名を「悪化敬」 から数名を「曹天教」と戦略して 然有数することとなったがこの時一般不可能することとなったがこの時 と名づけて一宗を確立した、その 三般と云ふ割合であったが一

物は、六人當に取りて共に食す 三人住まつて敬海を受けよ、 |住物は六人共に食すべし、翌日は 無老無死の法を成就し皆剛羅谀位 ましたので、お響動さまは更めて 世界に始めて五人の阿羅奥ができ この複数に於て、五比丘は、やが 断くしてお釋迦さまは苦 増を康健の家 る可進 喜も「誰



に養榮の様子お にり代ツヤオ

氣 断答用化批解は歌 度でも受けて非常の最近の を上げてぼります として問題よく しますから、盛



**専責特許の滋養料** 常庭家御の代時新

・糖 果・糖萄葡

かも懸近印幣成の要素です。

總代理店東京——大阪 H 圖 合名 會 財 超 政 元 東京・小石川 大日本雄都智謀談社題事部 全國有名藥店・食料品店にあり

一 分成主 たせることがあります。

葡萄糖と果糖とは、 人間が生 きてゆく、ための主要なる築養 合には、葡萄糖の注射をして、その菜差を保 込む力がなくなつてしまつたとか、假令縣み ます。 隆者が湖死の重病人で食物を張み 原基ともいふべきものであり 込めても消化する力がないといったやうな場 素でありまして、 體力精力の

夏まけの侵入を 疲勞=夏やせ 防いで下さい! 

他の食物の消化力を有し、し 泌を促進する作用をもつてゐ るばかりでなく、 それ自身が アミノ酸は 胃腸の消化液の分

上らず限つてゐることに目をつけ上のす限つてゐることに目をつけ

人夫を便役してゐたので能率が

果然邑會大揉め

むで厳酷に行った

小資本の

なったが、馬山でも二十三日午削一中であったが三十一名を厳盟永井 ル時から官民多数参列の上馬山神一府尹はそれと、田命の都令を交付

15の祈願祭を続行することに | べく、後て方面差徴の増進を批扱| 関介神能で承報の御史泰・園 | 特に細民暦に新生の風吹きを図る

【馬山】帝命の威殿令解止を歴と

嚴励に執行

上を買し明るい群戦の戦者に劣め一線として戦争脱起都市文化の向

市川議員の投じた爆弾質問

不發のま、持越す

【辛山】昨冬の採集期に高値と問

殿産場局が

で形式より實際の運動はまづこれ

▲加川県山田龍帰隊長 弘創から

い方面委員の郷土館良心により起

大邱局の爲替成績

(め同上) 温原

ることになつた、新信方面委員は

これより本格的方面事業を進め

救濟の計畫

れた邑有地貸付

何料の配立調製に取

振典館に青年部を削 質下二百八十ヶ所の

り軍隊で授けられた韓岬~月間毎日年前六時から小學校、「ら第八十線隊發展で執行時に励っては河の中壁人、び悪温学校を振び仕一日から」「年変而慰認等は北三日子前八時で東部副に蘇身的に第一代第一週では過度、小學校長及「大郎」大小學の簡優監呼、で、「東朝」大小學の簡優監呼、大小學の簡優監呼、大小學の簡優監呼、大小學の簡優監呼、大小學の簡優監呼、

異連動の實験を疑場中の第二別的設持援中の第二別的設持援

江。岸。書。色。※

≫漢江で⇔

三二 「宝笠川中央線の新設に伊」く袋の間同様となり交通を遮断さ「同行、

れる結果となるので、廿一日正午 埋立地帯の大小下塩を代表する加

工場代表者ら陳情

| 「観響|| 山口邑夏は去る四日から | 城交となる復想がついたので鹿よ | 酒と熊水湾暗導・面置さきることにて、 「東部、東京方面に出版し節 | の戦撃器あり、地元三萬様の別で | 「大平大・四十 南京 新子 西に 出版し の戦撃器あり、地元三萬様の別で | 「十つネ・ルー 山上自石の添加難重戦 | 「観響 | 山口邑夏は去る四日から | 城で十 英國、その他各地とも組営 | 域前「カネタール・田二萬石洋語

の書客を行ったが無誰願資味 | 複糅となる度想がついたので應よ | 過と無水流射勢も順立することに 場のため重視観道の第木氏も | 本樹館に寝出すべく近日中に当長 | 海と無水流射勢も順立することに | 本樹館に寝出すべく近日中に当長 | なつた

が上城談可を出願するとになった

中堅青年講習

高鰋で開く

本秋峻工の像定であるが、現在の一つべきもの記きに蠢み、各地剛組の工権顕和批准の国際、日本に工費約二十萬國を設定者が、帰げるのには中心人態の記録に使る工権擴張批准に破壊、照和直射核式資本』(高急)原では跨退近生の質線を

日本日本を動し

軍馬用乾草を作る

**枚は兵營に集めて軍隊教育を施す** 

軍部争助かる一石二鳥案

て期待されてある | お並してゐる | お正してゐる | お正してゐる | お正してゐる | お正してゐる | お正してゐる | お正してゐる | お正してゐる

管山頭理立地の大小工場は

大品型三、四年生合計和五百名か

など、彼女選の質感をそのましぶ

【統言】整南道では漁村振興更生。から通牒があつたが現在の同名総一

統營臨港鐵道

各地の株券應募し頗る好調

近く設立認可申請

した、加峻所是は夏の威襲の横

の加ことであると訳を鳴ばれた い報であつた。 価語 一た報子の窓はないが、報貞子位 とほむ報音の人々として無理か が調査委員を用して環連調査し た報子の窓はないが、報貞子位 の記さであると訳を鳴ばれた ち、それを材料に修正の上提案 という。 これを表すると記さいる。 これを表する が出来た のにとであると訳を鳴ばれた も、それを材料に修正の上提案

五十年極に亘る注意で希望が項が一心に基映館を用く言であるにつき無距名投售を事集した結果、點が多いわけで、近く右投 につき無記名投門を犯無した結果 一蹴が多いわけで、近く右投酢を中きの駆けありませんか」の二瞥目 常業計も大いに破党せればならぬ

| 大中子| | 火まったが開発とも大部分の生徒 | 町、三総貨舗と外部との交通連 | 最を据め水産調査原を開催 | 工作部別 | 東今、更に女店員には無要都な | 町、三総貨舗と外部との交通連 | 最を据め水産調査原を開催 | 東今、更に女店員には無要都な | 町、三総貨舗はの組むがは道路 | の連戸部底のため二十二日から十二日から十二日から

噂から自動車の便あり、約三時岸、面部務所から約十期、洪城

のが同海水浴場のプロフイルは次 『來れ老幼男女我等の安慰語へ』 が紅く吹き聞れてゐるなど文字通

の内、源記技術を励せば耕作可能。これ等組合との金融取引も相當に「近く所長寝話で決定する否

娑婆の風を慕ふ

加藤仁川海事出張所長の

燈台行脚上產話

「「病別」思北道内の天水帝の總面「全く続を躍めたが、継来都馬山は「健中であつたが胜に認明を振り、 来了が多い この廿日観り一湾解散を範せられ、【馬山】自首国を並って記書と思いました。

不正貯蓄組合と推局の理能をうけ

【馬山」百萬国を投ずる治職大阪

一機能を置うした四十有餘の

「馬山」金崎田の暗黒面に跳梁

移轉新築具體化

設計もちかく決定

知とあらば本真が説明し 員はいよく~本腰で乗出し一と陣罐に努めたがこの時前川よい

二萬餘圓は

夏の皮膚

u呼びかけ外来客部致に大選であ

の肌天地である、端山郡邸では

5 斡旋方を揺削した 絡に出來得るだけ支歐を來さぬや

奉化署新築

今年中に完成

水產講習會

統營で開く

| C欧栗と決定した。日本|| 日野沿局|| 「大町」 奉化醫器芸師合は本年度|

大邱の女店員は不愛想で不愉快

界がこんくと過ぎ屋邊には海撃

忠北の植付

天水笛には

**古郷の趾があり、その麓からは冷│郡技術就等である** 

**市松、松林総香たる背後の山には「艦、翻師は道から小貴和次氏及びある、水清く遠波でいはゆる自動」から三日間悪通災技で講習館を明** 

釜山無盡舊

**港灣大改修で** 

**石を思はせる領鮮一の海水浴器で | 宛合計約九十名を指集し二十四日** 

【大田】安殿島海水浴場は須磨明 | 合脈に更生部番内の中野青年二名

朝鮮一の海水浴場

天水番はどうにも極付方法なく百

具製態は、玉砂焼氏その一

お客の批評は禁物です

### 生業資金の 貸出利率引下け

街を明るく化粧し 店員は朗らか

行利総入原を踏破してあるが続近 日は韓日歩七原に低下することに「複数がこの程到着した業党会責出利率は昭和入年以来取 ので同生業養金費出利率も入月 一 離長から中島邑長宛そ業の信数は献为郷下してある | 上陸の隣の敷塑経帯に 忠北で來月から質施 監察司令官及び越智綱市史港部参上陸の際の歌迎送待に對し加盟同「縁再」花ささに入港した第二艦隊

**茅二艦隊感謝狀** 招く**安眠島** 

衛係な手で整部補等が測量のため

欧步、発然操作見込みなきものは のものは一萬一千三百六十五町五一

へた影響も班大で動揺を来たすお 叫げれてゐる折爾、戰然後山無靈

高回に組合計画が | 定期語資を聞きこれを附属する語 四に同地は世四日被政節、廿五日

他の財発巨頭連の統解も既に得て一者は十五名であつた。

遊してゐるが交通歌窓のため自門

イになってあとも目だたぬ ・ カ山の『るいれき専門薬』 ・ カ山の『るいれき専門薬』 ・ カ山の『るいれき専門薬』 ・ カ山の『るいれき専門薬』 ・ カ山の『るいれき専門薬』

の赤明地書を選び、

部長と所轄公督

洋畵頭

布會

核結んせばんりゃきでんの

(1月) 元本戦艦に大阪保白契権に 記載が旧渡三氏性・髪の仁川・ス を 対 が 有 志 の ナーニ 日 来 に 一 日 下 歌 で 同 前 郷 世 局 明 恵 三 井 二 日 来 に 一 日 下 歌 で 日 市 と 一 大 工 一 日 来 に 一 日 下 歌 で 日 か た の こ 十 二 日 来 に ・ 日 下 歌 で 日 か た の こ 十 二 日 来 に ・ 日 下 歌 で 日 か た の で ト の で 作 配 を 同 が 都 に

河東 1 郡内金南面葛四里に赤町

約手で排ひ込んだ

「馬山中學建設各附

きづやたゞれきづに用ひて、たいへん早く肉芽が避するヴィタミンAD外用薬で……コチれた題み

巡查試験

東京地
公一〇九九月本数
受験案内及は数旭片表脈
で大郷巣中、志願者は中
で大郷巣中、志願者は中

総十六・総十三則一 銀五十六 20 布 位 一 りあに店場一

もなをり たじれ・水むし 股ずれ・とグひ

キレイに治癒します。

+

画 道源した場合は八居島・長崎 華 本山 | 「一大坂 | 一大坂 派客洪水の緩和

打雑しまで動員 ッと吐き出される上陸客

**厳容の大部分は元軍と集任で占の「は衛権院に獲建てを批政し発金庫」題の方針を内定した標識である東が玉百名を講職して人造した。「で、昨多の好換に難観されて本年」の新倉党網帯に乗り出すことに大器をか九百六十七名、総時間前職「豊作と高祖を至しく意識した存職」で適地調学を完善した上で小浄本** 動き出した男女皇生で毎川機能と紹常語に止まり洛東、多太郎、鳴、教院が法に頭を傷ましてゐる道水 金山」夏休みの間省派行で一門」これは資本を間隣に有する少数の一通を領超線合置、申込む時が記く 大脈の、廿一日夕人池の呂長丸 | 貞三漁業組合成八百名の大部分は一番高でも洛東江の河川巡修によつ 子二十二名、二十二日朝は徳一水書常時の新聞を米だに普負込み一て養殖地帯に一大戦化を生じたの

眞に有力な 方面委員を任命

戦者みにする男……永登浦町七成。

いふ行板を関げ 宇四月永智神町 デ月一七金鉱場

洗濯物を食ふ

労を振らして<u>者</u>健した、この様

機断は船川とも要体みらし

災風展を仕五日頃までが峠であ

うと見られてゐる

込み

耐人物を酸選し過に遡生を割り。都酸といふべきものを組織、今後 ▲中村崇朝氏できなべた。 業17 直至 4 1 2 無能力委託は全部解散し新統門版 ら二十月間 質を結成し方面事業齢の強化形大質を結成し方面要数の総本部方面委従続合 合に腕を出したことのない委員や 健康伝命されてはゐたが一度も自 答であつたが来る ス月十六日に延 県水浴却で銀行の 製駐手催煙さ大曽 大倉延期 - A

け夏痩せの予防に (疲勞恢復、強心、强壯劑)

食慾を増進し、荣養を補給し、破勞物質を除去して 精力を増強しますので常に領分を爽快ならしめます。

其他スポーツの疲勞、病後、症後の榮養並侗獲、勉學、執務

時の疲勞、慢性心臓病、鉛革量、神經疫病等に著効あり、 各地薬店にて販賣す 30競人 .50 50競人 .75 100競人 1.30 500競人 5.00 エセ 日本 スポ ラチウム製発株式会社 出版 本本の出版。

**製鋼により必ず時期を収置**──予公立學校及訓練所に

様を観し直送の精神的指導に指軍 あて、心田崩砕に関し左の如き派

要略にSOSを發す

代作の獎勵では手緩しと

黄海道首腦者 • 本府と折衝

響祭剛部長の名で管下部守署長に きたので狂敗道では十八日前四称 の態度につれて統々重要となって

つ心田開發から

百六十萬道民の精神生活を穰らす

任せるを追知事直接之を行ふこれである。追い職員には關係能体中最大の語のを割守に委に任じ從來その誰のを割守に委

江原道の新指導陣

るを可とする。管理可能にして 充分維持。他の記述るる場合に 原り飼室を確放差支佐しこの場 合に役ける側室の構造は土地の が何を元分替的し且不億数に直 らざら経注意し文低級の新向は 適窓の場所を選定移動すること

もの及他方の先致を記るものは 之を認めその他の難神は「可染 らざること(ハ)制制及その境 内は常に満滅を保も之に適當な る額木を瓶栽してその罪化森協 を顧ること但し類の構造り様は 本の類を改造し藤木式と上のも 東の類を改造し藤木式と上のも 東の数との世の特別を 本の数をのは、一般大式といる。

平壌署から全市に連絡する

「旅館」よる光線並出は不難と瓦斯」(ほの死齢はまだ態見に至らず、な「運南」、既報上刺者地職業所援が、後二時に死體一額を抵出したが経

市内生物町李昌最安全初生でし

敬化の中心道場たりしも今日に各地方に於ける交廟は往時地方

僅かに形骸を留め形式的祭 左の製甑に依り之が改善

羅南に天然痘「墨雪」

阿吾地炭坑爆發

更に死體一簡搬出

の動向にだけ懸念してある模様姿を好まず修力遺版と一般従業 つたが、死者の氏名は質問側で

四死體はなほ不明

とのために作業が抄らず二十日午 | ほぼ製菓出の入名の発體は二十日 | 定された | 一十日子経賦と診嫌破による発鋭離出は系羅と瓦斯 | 緑の発體はまだ凝臭に至らず、な | 十九日經病・二十一日天経賦と診

對する県敬參拜を盛ならしめよ神能種詞の県敬 ――神此理詞! り之が順股の博元改善を

生命者に對し之が改新を励るこ(してもなほ)。三つの「といふ並行」権能制策だる代信能では擠除額拠

12. に過ぎず選往総分記録である昭和「炎の代作戦跡で星代国家を講じて「師を夢聞し早期智報に購了る路稽に本「改良談朝社」は近か四十九ミリ九「で、道當局では代作可能地には超「務部長は二十一日より三日間西 女 |三年の同期の百三十四ミリに比喩 にあるが何しろ廣大な被害地に消 を勝へて本府に出張して早黙恩策 |土月にかけて、韓則宛となく大月よ | 血付未例面徴が来た二萬大于七百 | 像各級首歌歌が連日場首翩踱を選 | 地人の実容を司伴してゐるのが人 | 慰に選指し大事な杉映劇である六 りで全く生活を失ひ七月現在道内 【海州】黄海道に村は超起線的早一な南鼠で道内至る磁早割の路ばか一を破和し得られないので道常局で一 熊町歩を算し植付純望に陥ったの は郷知事、佐々木内務部長以下嗣一の内曼語治(雪)といふ支部人は内

り七月中心までの降削量(道士地

夏季講習

神の作則といひその機本の懲責は [元山] 國職の明語といび日本語

頻楽工風を手する

氏を述べ左の通り間誤することに

奔騰する鑛山号気に飛む

原原側に施して解験

3 め

し歩

質要を精製に配合してあるか「痛の特別・悪と抱無せられる場」 て御館屋下さい。一柱の御堂

職の基となりませう。

のて

ъ 嚴

進

L 心 安

神經瘍にも

24

**地岛运廊附属小学校测算出上**语言

西百から元山教育館では本年の可

サ丸のお客

かくる存在は職業王國の観金なる 山師佐鵬業家が敗越してゐるので 好況に潜んで職業を喰ものにする

【春川】 発線器ではグレート経川 へれば沿路数に選する見込である。 著川 で 間辺玉 | 町、昭陽迪一二丁目、海岸里を加

の成立後は一取引に認識七通の性性態の飲けみえず、むしろ同國定 事がに蝦鹿を来し、鹿に高洲西郷和を作成する必要が生じ取引上の 府は慰蜀抉錦上取引銀行を标語正一

奉天における

外商の取引狀況

満獨通商協定は特惠なし

米人の暗躍が顕著

陸、國際ホテルに依他の後夜行で 職京城總計事館はエ・イ・イワノ プ氏夫張ら少数の船客を乗せてる たが、イワノフ氏夫妻は清徴に上 山脂配鍵選択を一部することに決 砂原を阻害するものとして遺産業

型家の徹底的取締方を整告した 米穀調查打合會

南浦

所見

れてのるが右脳を駆立に岸の多数 みられてのる。関窓に沿したのは「株天」去る大月一日から實践さ、リケートな 動きに興味を もつてれた領導通路認定は今後の両層質 | 淝江東引速電がはじまり今後のデルでは選手がはじまり今後のデルでは温

NXXXXXX NXXXXXX

全國各樂店にあり

てゐる際民を数ふべく自ら第一線

惠山の

五人の婦園支那人が上陸したがこ

【悪山鶴】大倉礼配下〇〇組架々 | 苗代も枯死し、非常な青斑に陥つ | は少年作は大丈夫といふところき

で測さつけたので依氏は部落区

にベルが辿り一瞬間にして発力に 然形、唇彩部間保の各郡長首舎に 母語をとり一個有事の場合は一時 配がなるといよ説単復章 【北市】咸南政政的では原体みを 八間の力で

三髪を正成

今年は稲有の早態で田稲は出来ず は泣ぎ、今後天映さへ駆動に行けして部落民から奪敬されてゐるが ひられ、都内里七十條町歩の田福 **製氏(元)は周里區投棄振興密長と | に當り、その献り的勢力は遂に報**(さ山) 坂州郡月荒西都内里沈九 | ながら四十旅目問職職の損帥監督 **區長が部落を教ふ** 

大澤川建設に努めなければな

窓。日常で取劃べ中のところ被害」「もある水道を採引十種何を建伝し に立ち宝夜を間はず往後二里以上 | 歌歌の的になつてゐる 職者も暑い

**ふ希望を持つてゐた** に入つて何か仕事がしたいとい 

一般はれてある 部では、 第二保(諸人郎)の二つに分けて 第二保(諸人郎)の二つに分けて のこのに分けて 延吉の保甲

華氏で九十六度半

XXXXXX

鴨緑江の 護岸工事 惠山邑から

御

選擇につ ある

ŀ 7 0

藥

し、新棚の日曜日で盛から果朽の一た、低温に刻れた人々には正に目「俗を即する語」

都市の面目がこれによつて一種子 工事も同時に順工する語で前國際 るものと期待されてゐる 長二千五百米の曖昧に事の測量を批中のところこの福具般化し、延 とくなったが對策長自新順の数点 「へ近く當局に識用を申請する」 『と共に網録四学の歴研工事を記』(第山間) 邑では市町地北西の御 認可を申請

現を喜ぶ

既上一生の不幸をも続くからです

も除りに劇性のものは避けなけれ 時必要のない歌や、役には立つて

界値に有効な成分でも、距離でのということが最も配契で、たとへ

適時に適劑

るのは現代人の恥辱です。悪は

ワカ(と貯大な宜僧に釈ぜられ

郷左殿の脚門がかかかしたり、町した時、原炉部を外がしたり、町 危険の瞬節が使用する場合は例が

歯痛が突急

|用電店はまた下軍総可が来ないの||転職が何れも控引きといふことで||下職闘闘を北部公立職業態校正語で業設されることになった弊影響||単で確保し、燧額は三十番名の被「で「週間道内各初等態校校員の木

組で歌儀し、巍徹は三十龍名の被 | で一週間道的各初葉繋校教徒の木萬五千園のくち五千七百聞を大作 | 利用し来る入月四日から同十日ま

警備電話の新施設

総可督促をなしたが、この電話は

製に本雄をおき形内の派出所

木工講習會

で消費級部では本所に對しこれが

中反大心氏は謎る 「京谷飯道株式館はの明立島館に「春川」去る二十日京城で開催し 山中氏の話

番、協力一致して人口六十萬の痛感する。今度春川人は繁華。京ぶとともに一所責任の祖文を

咸北鰛刺網

そ

がいれば、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 では、 のでは、 のでは

歴代解表的及情感出です。 しい関痛の起った時、触続英変解 は、どなたも御存好でせる。又聞



< 솔

全丈夫にする母男な党果がありま

2水揚高二子萬称である



評好・藥寶重た -五三二 +++流

四四四缕缕缕

誤 所樂製田森 ı 館 鉱本

番八四九八京東藝提



風速十五米の風吹きまくり

特務、潜水兩艦損傷

脛傷者四名を出す

際颱風に遭遇し

ず高階級は切断されて能機権りなの交通は金然能総し、未だ回復せ

独勝を保険しようと進んであるが

坑夫の貯金

じて九時四十五分に到着した

**東北方に向ひ秋田から太平洋上一一年四月末総在院金を無縁蛇上次。で一人常りに見ると秋四国四十経常射気無だが、唯この鷦鶯が「好くの臍童殿説を調査した處、十一二十五面、三八四千四百五十七人翻風は現在七三六ミリ程度で相「好くの臍童殿説を調査した處、十二二十五面、三八四千四百五十七人翻風は現在七三六里,程度では「一中火が寒寒躍の膀線域土は左の如く」本府巖山縣では最初の鎌みとして「は自纏離にしてゐるのは百八銀山中火が寒寒躍の膀線域土は左の如く」本府巖山縣では最初の鎌みとして「は自纏離にしてゐるのは百八銀山** 

地下通り

四つ

您は風のためがで、邪乱は死亡、さらに漁船一隻と同船駆殺政九名は行方不明となり、

船二隻沈没し乘組員行方不明

護北東に向きを經へ、中心示度七 東京電話」今夏四地を獲った起

長崎の被害

一三名、語習生に月期廿四部助 合の質別に従事したもの、定員世 督政帝年前で聞く、孫哲生古俗は

一版書は形大なるものと如く、同館 れ、日下戦闘作業中なり、特殊艦一

中の職合艦隊を避び特別艦間宮及十米の颱風は折幌等島水道に確認

**・母當被配める模様なるよ調在中び液水艦一隻の錯割を明婚問艦と** 

十二日仮九州方面を製つた風速三

行物流送施設

ば、廿二日 なから有朋の海に出館の、総話風遊は二十七メートル七

|風は二十三日朝八時まで吹きまく| 袋照組員七名。 交昨日より多良で

が、流送施設により従来的記誤村 型の人型供称を行ふこと、なった面。芝音面等の各版村一帯に流線

【佐門私話】佐智地方を関つた節 中の漁船にして消息不明の

佐賀地方も大荒れ

三十餘名遭難か

四ヶ所の汚物貯温槽を設置し、

一時期地に関け地域に

「物度い大時化を担けた、各資船」したもの数十戸、松鮮の酸域は多

と、これには、出土の地域には、対象中の家屋及び小屋の団とのできたは、対象には、対象中の家屋及び小屋の団とのでは、対象中の家屋及び小屋の団とのでは、対象には、対象には、対象には、対象には、対象には、対象

**[四司忠治] 鄜門地方を襲つた勘 | 心不通父献辞丁夫一名は縁成中吹 | 四司忠治] 鄜門地方を襲つた勘 | の鼈道椒路は浸水のため甘三日列** 

長崎本線不通

**航で下開稿は大脳難を配し、到々佐殿に淑しつくあり、腹作動が運転するのみで、脚篭運「川は一齊に引水湿蔵、脳筋循巣は** 瞬門間の連絡は僅かに省級一般屋根は殆ど全部もき取られ又沙

武者小路駐獨大使の報告

ベルリンの容別は一般に日本に有利で、ロンドンの遮腹如何に抱て廿三日忠宗小路弥濁大便より外報省へ次の如き伽観があつた「日本に有利で、ロンドンの遮腹如何に抱ては日忠宗小路弥濁大便より外報省へ次の如き伽観があつた

犯罪の巢・孔徳町 矢繼早やな三つの强盗事件を繞つて

職心を持つてゐるのはਿ釈がであ

たき孔徳町での唯一の秩序であら

さうとしない、恐らくこれは秩序

威奥高紫16——4维城岛晋——6城岛晋——

3 後山一商

ツカリの乾杯だ

価係成党主配解除の最に特別支急

量益事性設定以来保存のごとく要

| 韓沢が石坂山十八山、 | 萬三百三 | で平均 | 頭八十銭となってみる| 萬五千三十三届で平均五関五十二 | 千四百四十人、二十五百九十一回

夏空のスリル

廿米に近く、胴體の構造もサルム

幹線 を設けく児前院送日 舌関原原師世間は第市城町七十萬 った、なは慰症の官職層における 石であるが、うち六十萬石が肥料石、新市城線五十萬石郡自二十萬

農村へ流線型の人肥供給

四石は<br />
面目<br />
両分されて<br />
あたが、<br />
こ

廿五、六の兩日



た京城郡至町七九朱紫方安開敬(三五さん(三)は三年則同地に来てゐ

探す男はゐない

他の女と京城へ歸つたといる附近 はものけのから、信じてゐた夫は

十五日から當分の間

一時から午後十時まで)京城楽術队

い界で時の心智色々、宮内炎御用安産を望む方にゼヒ知つて頂きた

各地の豫選成績

美味で安價で















一年 人用 とればらり 数名 本 類 二 丁 目 職 一 丁 目 職 一 丁 目 間 ・ それなが



(2) 接換 婦及付添卵部等
香味 看 被 婦 会
香味 看 被 婦 会

四會





特別拿瓦









特製

椹

語店

中等硬粒鱉籔

一般大学 日本日 2011年 大学 1987年 1987

女 店 り長家楽年紀十五登上 計巻午後三時より大時まで来国の 事手鴻龍苗照貨園衙り で来国の 事手鴻龍苗照貨園衙り 田治奥薬貿店

行獨似の騒音はありながら、棉花 **6幹太の鎖びた繋が洩れて来た。** の顔子の何ふから、関き憂えのあ る音と、行内に確つた銀 ―』 陳坐との頃

分共に……」

『手前は済川と申しまして、中村一がお気に召さない御稼ずで 管は遊園なく此方の宝へ流れて来 | 詳しく同つて住じ上げて居ります 處では、お堕さまには許嫁のお方

心木の肥板の上に切子館子を嵌め | ちて來たので母を聞くしてゐた。 | 「成程。 餌尤もでござります。 全 「中村家と仰つしてると、銀行に一に発すないものは致し方のないも 云つて、どうもとればかりは他で やうな気持で、話が自分の上に落 鬼や角懸つた處で、御苗人の御祭 るが、何でもお照さまはそのお方

別一郎は勝元へ冷水を掛けられた。は経郷原對する理由のないことは、するな?』 「はあ、そのこともお願さまから」く、何誰さまが御考へになりまし がおありになったさらにござりま「今直ぐに御返びをする説には参 それに一寸的ひました | なもので調座いませらか、御意向 にあるものではこざいませぬ。酸 い御終祖といふものは、さう始多 申上げられますーー ても、御団家のやうに御似合はし りかねますが、只、私丈の考へで を向ひたいもので?」

同六時五五分(京)カレントトピ 法學博士 下村 宝

は、同学時ご五分(平)節足歌派(第一年前七時一分(平)節足歌派(第一年) 見玉・豊立 旧・野 神野学

ニュース・天気見込・職

近歌 愛國機 脳谷

| 國谷|| 大統一 (下) | 大統 (下) | 大統

ヴ

1

-

一般、 巻人よ、 共に歌はずでいとし一郎られぬ君実しのロリタ、君こそ

七月十七日

代理店 朝鮮迎远支店 加田町町町町町 送

松竹少女歌脚竪架や科生作詞) 熟海芳江と合唱 年间) 熟海芳江と合唱

成佛経(五) 児主 雪女同七時一分(京)朝の経道 即身同七時 今日の天氣見込 廿四日番組 第一放 三〇分(東)建成獨指語 金仙日了 **登職信一郎** 

同九時一五分 須収油報・料理駅 同九時一〇分 須収油報 (参山) 同九時一〇分 須収油報 (参山) 同北時二〇分 (東) ラデオ機様

ニュース 郷 年 奏

それ以上魔器の衝撃を聞く興味も「る。處で、今のお話ですが、どん「午後零時五分(東)レヴュー主題」卒お掛け下さい。さ……」 「た続道へ外れて恐幅でこざります」 魚頭伯良 (X) 時報・日用品间段・鲱

|「さら早合いされても困りますが一般で、愛子の事を浴々想ひ出す折 | 50 これで手削も嘘々御願ひに参| ではなかつたに。 はなかつたけれど、それとて、そ い壁でもあり壁めともなつて超えって来る船の中でも、選子は愉し 確かり振り締めてゐた。日本へ配 何時の間にか先刻の新聞を耐手で 口上を諦めかねてゐる。間一郎は ればかりは顔せと仰せられても、 伸々酸斑にゆくものでござりませ 長くなりますのが鍵點で、然しこ と相談みません。 更色老人は話が |同六時二〇分(東) 技店を致しまして、御信がしい處 第(四)テキスト五四ペーラ 演奏所より中郷――ボンポコ姉

一、岩原源三君の思出

で 同九時一〇分(東)今日の過額で かって (上) 九時三〇分(東)時歌・ニュース 須藤通報・翌日の番組(地方へ のニュース・レコード音樂・京 城)

腕に、あゝメリー君はらるはし、

圧パーブルタワー、

聖まつり、えいやえいや、えるよ

者も存え、花笠姿、江戸祭りは、 木道音頭で、揃ひの浴式で、鈴の

生どんな事があつても悲観はしな

家庭講图 午前十時年

称しい感を抱いてゐるものでござ | 熊群にいふ來世とやらをまのあた | へさびしてに曇りし心もはれて 私は常々今の世の種能に関するあしつお、メリー り見る様な気が出しましてうすら

鈴木君の四七角成は考慮が足ら

(イン七夕まつり

白銀つぼみ

けるべきである。その時四七角と一念にて、こっけ五五様と打つて必至をか一玉には絶

買った朝刊を指げて、三面に目を

した。飛び!~に拾ひ題みして

主人にいたしましても、誠に結

…。 御総組と存じまして、

「お嬢さまの佃島めにも、又私共

二流争弱血戰譜

なく、周一郎は今朝縣へ降りた時

正午

ては自玉に語みがないだけに大い たのは常然の防禦。ついい君はこれに對し長案二四銀

存んであた。だが、その後に置い その聲に同一郎は思はず新聞を放

> 殿は三四歩迄の格面 平 門段 ▼ 鈴 (船木氏)三城三肋四人目)

、それに、こんな事を申上げては

得名が記よ風にあまく香りて、我 台灣器が瞳月に清くうるみて、今

まき様の歌心地よき調べ、あゝ月 るはしおい話よともに歌へよ、あ

いの相手はいないかな、ゐるのは あたいは一人できびしいな、あた チクチクさはてんアマドール、べ テクチクさほてんばかり、

山出帆 代理店 日本海丸 八人 一大海丸 八人

続のエルバン、まゝならぬ

同四時ニニース(気象通報・後 李李金

本紙一萬號記念縣賞小說二等當選

整無断上演映 6

|関大陸(東)らたのおけい。 (ハ)ロリタ美したい

門司基礎員行 网络西国国经验 图 門司登正于 题 图 九月月八日 八月八十日 秦 荣 丸 九月月八日 日 秦 荣 丸 九月日八日 日 秦 荣 丸 九月日四日 日

登上さい

配株式會並

野自己な

807

し、ロリタよあゝ

**景良島知常**が胸の想ひを聞きてよ、君のあこ 君の影見る難は愛の言葉をさいやおい美しロリタおいやさし花よい 西湖津出帆

身強し、おもかげを胸にいだきて 山を越え海を渡り、さすらへど我 1リタ想ふ我が姿よ、山を越え海

りよ、胸に秘めては遺滅ない機の

後零時五分

想ひよ、たり重へは読もなく、胸

がふるへて、風もないのに甘く匂

るき青空のもと、何時の日か、い を渡り、さすらへど我は樂し、明 

ゆかしく寄るバラの花師、うつく「えいやえいや、えょよいやな、よ

り映ゆる花廊こよなく美し、おゝ 空は高く時れて光ふりそとぐ、照

イ)サンマー・ローズ(ロ 木造り

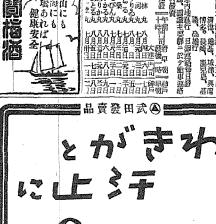
あく君ようれしきこの感び、なにしく吹きほこるパラの花よ

太鼓の音じめた、笛でをどろよを

陽は輝きでたのし にかたとへん、今ぞ空も晴れて、

**関導は若い元軍でをどらう関等の** いかだ希望に売もて青く祭しい人

しあばま挟うう熱音 あめいる。よす とりかび祭っり河林 るかるん。





けの心配なく衣類を汚しませんいところへダモラを強っておくり、額のはえ際など汗の溜りやり、額のはえ際など汗の溜りや出の時 腋の下、帶の下、喉のま 推のささにダモラを ゆふ、心粧クリーム をゆぶ、心粧クリーム か(《平壁記》 (一個三〇)

が黒い歯を 簡單です! 日はかゝる ですらも三 は スモカ 白くするに ぬ手段なら 赤く染まら STORES 0000

定價十五酸素店ニアリケックで

ーリクなかや爽

可些理區東市阪大 店商衛兵長田武 證 元遊發

氣に撃滅!!

が見る見る死滅する眞に驚くべき最强蠅、蚤、蚊 南京虫その他一切の害虫

是家非に御一 製造所 常瓶 戸田 工業株式 備を!! 盦 社

盤井 上 喜 商 店

朝 服 好玩 00 会社、

說明書進星

页 京•望 町

三共株式會社

金易二郎

一調来意は解りました。私からも

宅の主人とは、お二人の仲では御 如何かと信じますが、お残さまと 料果がもら既に出来てゐ

三二元 (12分) 三二元 (12分) 三二元 (12分) 三二元 (12分) 三二元 (12分)

**関しろ今時のお若い方々は避步節** 含らに飼って居りまして:

